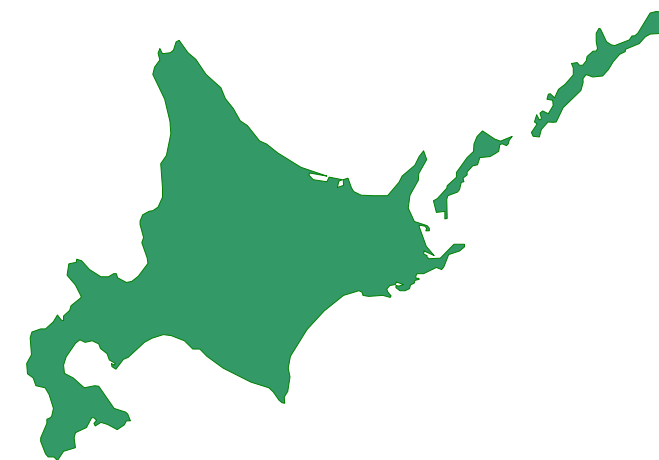


各市町村の担い手育成・確保対策について

～ 新規就農者数のレーティング(数値化)に基づく独自支援対策の紹介 ～



令和4年2月
北海道農政部技術普及課

〇はじめに

農家戸数の減少や農業従事者の高齢化が進展する中、本道農業・農村の持続的な発展を図るためには、意欲と能力があり、経営感覚に優れた担い手の育成・確保が大きな課題となっています。

また、地域農業の担い手確保と地域の活性化を図るためには、各地域の実態に応じた新規学卒者への支援や農業研修者等の受入が重要であり、受入側のバックアップ体制の整備が必要となります。

このような中、道では北海道農業担い手育成センターと連携し、新規就農者の累計数を集約するとともに、各市町村における独自の担い手対策を取りまとめましたので、今後の担い手対策の参考として活用願います。

対策を講じている
市町村は、担い手
も元気なんだね！

Point

もがくことが
大切なんだね!!



《 目 次 》

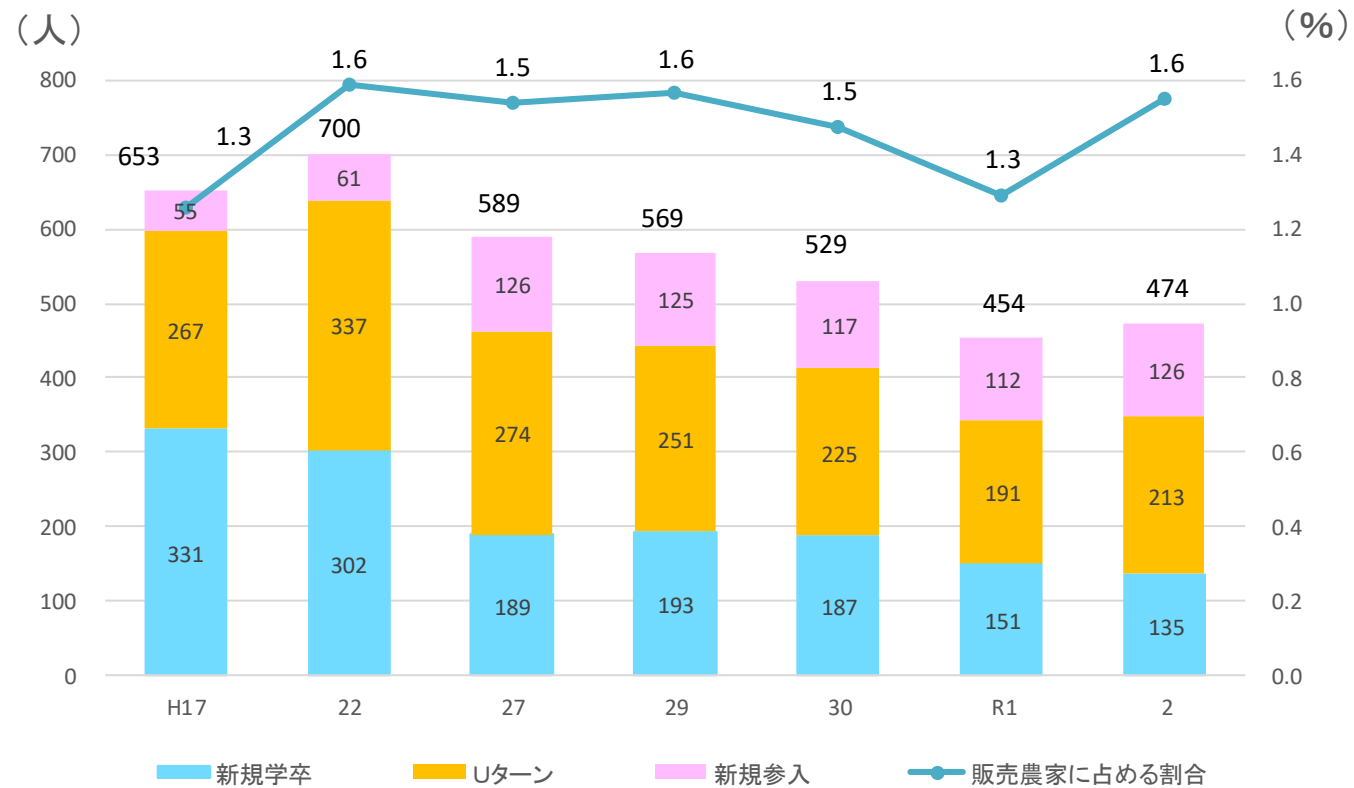
1. 北海道における新規就農者 p1
・新規就農者数(全道、営農類型別、振興局別)
2. 道内の市町村別における新規就農者数等のレーティング(数値化) p4
・全道市町村における新規就農者数、販売農家戸数、充足率の試算
3. 新規就農者数のレーティング(数値化)上位の市町村における主な担い手対策 p5
・新規就農等研修施設の有無、市町村独自の対策
4. 各市町村の担い手育成・確保対策の事例紹介 p7
①別海町、②岩見沢市、③新得町、④富良野市、⑤平取町、⑥豊富町
⑦浜中町、⑧八雲町、⑨中標津町、⑩新ひだか町、⑪新冠町、⑫中川町の取組紹介
5. その他(参考資料)
・北海道における担い手対策施策など

※新規就農者数のレーティング(数値化)
新規就農者数の累計など、対象となる物事に対して、ある基準に基づき数値化を行ったもの。その位置付けを見える化したもの。

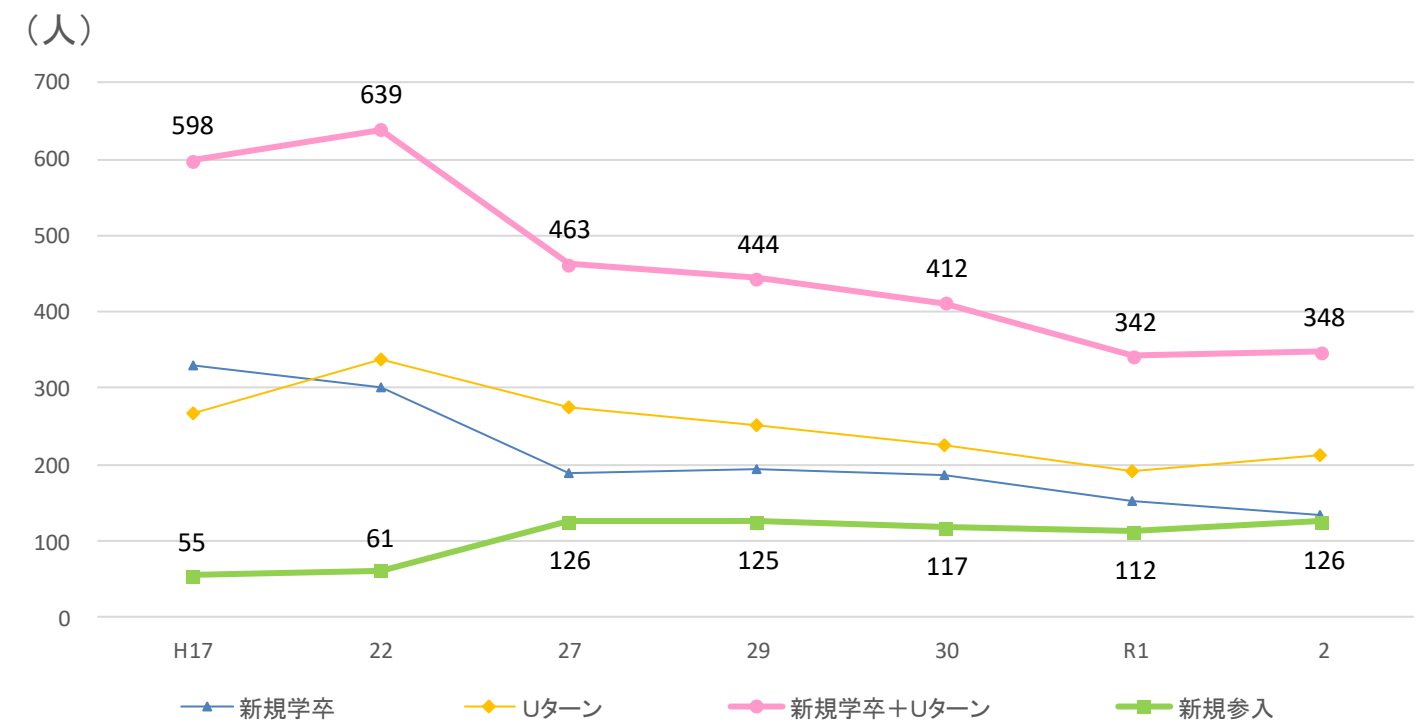
1. 北海道における新規就農者

- 新規就農者数は、平成22年(2010年)以降、減少傾向で推移し、令和2年(2020年)は474人。
- 新規就農者数の販売農家に占める割合は、近年1.5~1.6%で推移。
- 平成17年(2005年)及び平成22年(2010年)と平成27年(2015年)以降を比較すると、農家子弟(新規学卒+Uターン)は減少傾向にある一方、新規参入は増加傾向。

ア 新規就農者数と販売農家に占める割合



イ 新規就農者数(農家子弟・新規参入別)



〈新規学卒〉

農家子弟で学校卒業後、直ちに又は研修を経て就農した者

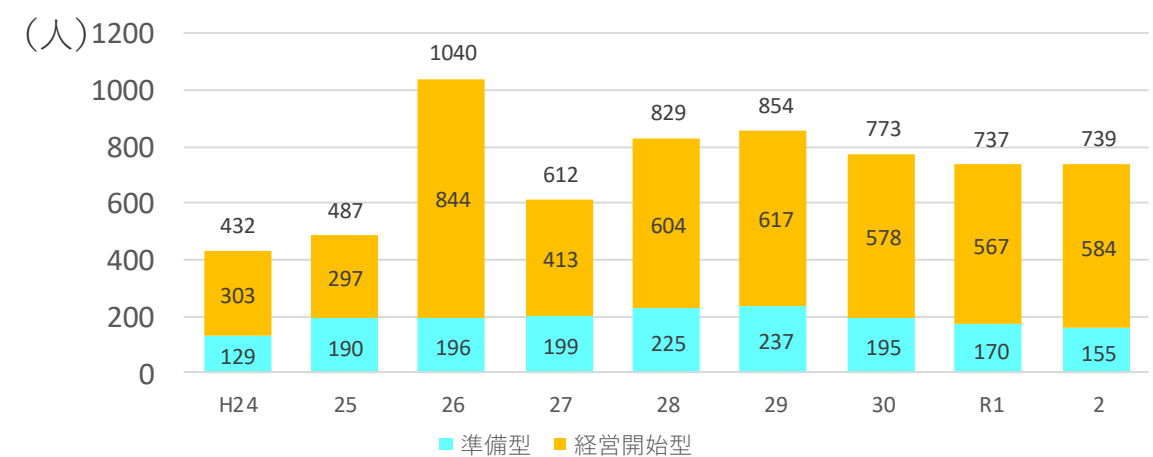
〈Uターン〉

農家子弟で他産業に従事した後、就農した者

〈新規参入〉

自ら農地を取得するなどして、新たに就農した者

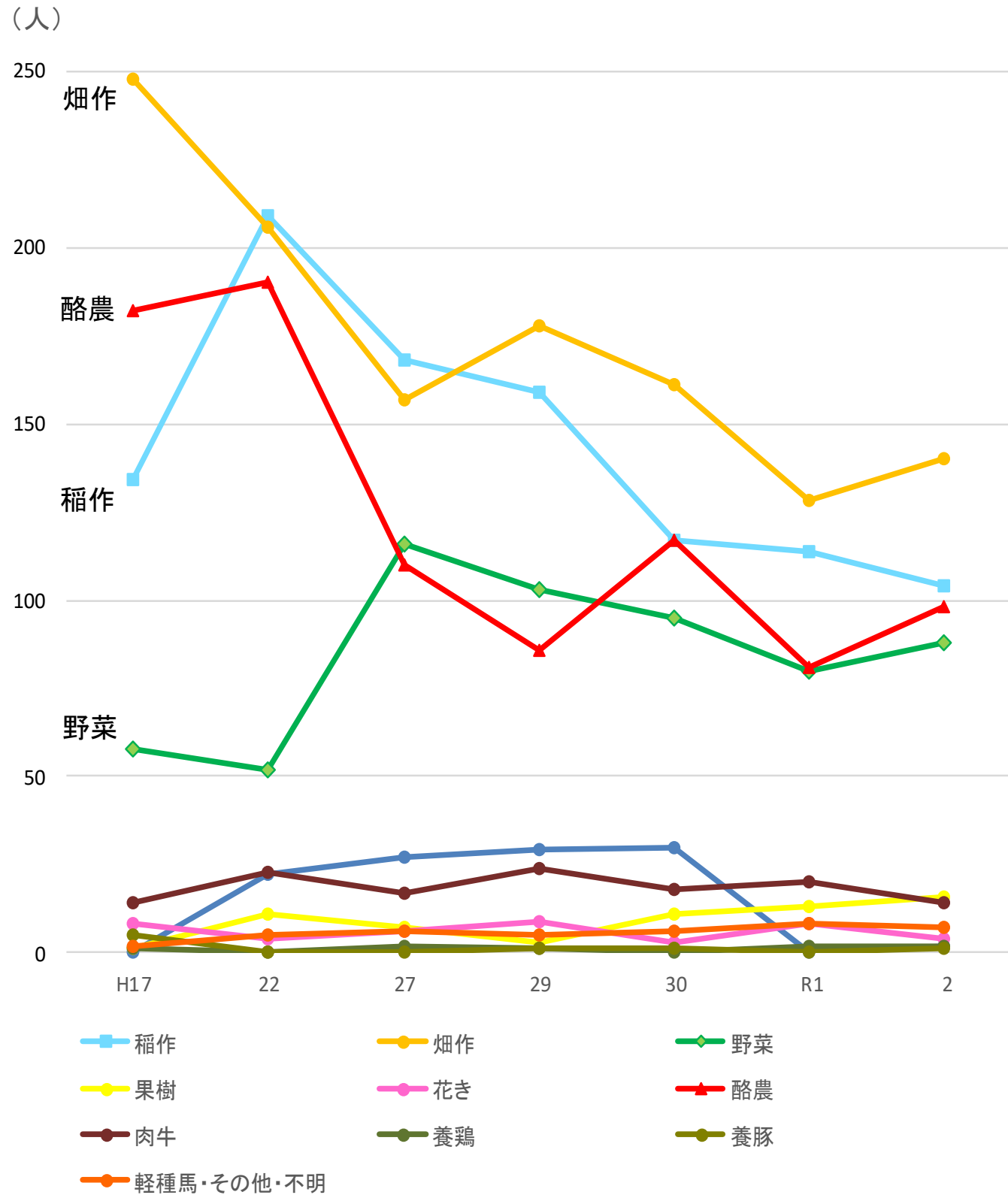
〈農業次世代人材投資事業の交付実績〉



※26年度の経営開始型は26補正分を含む。

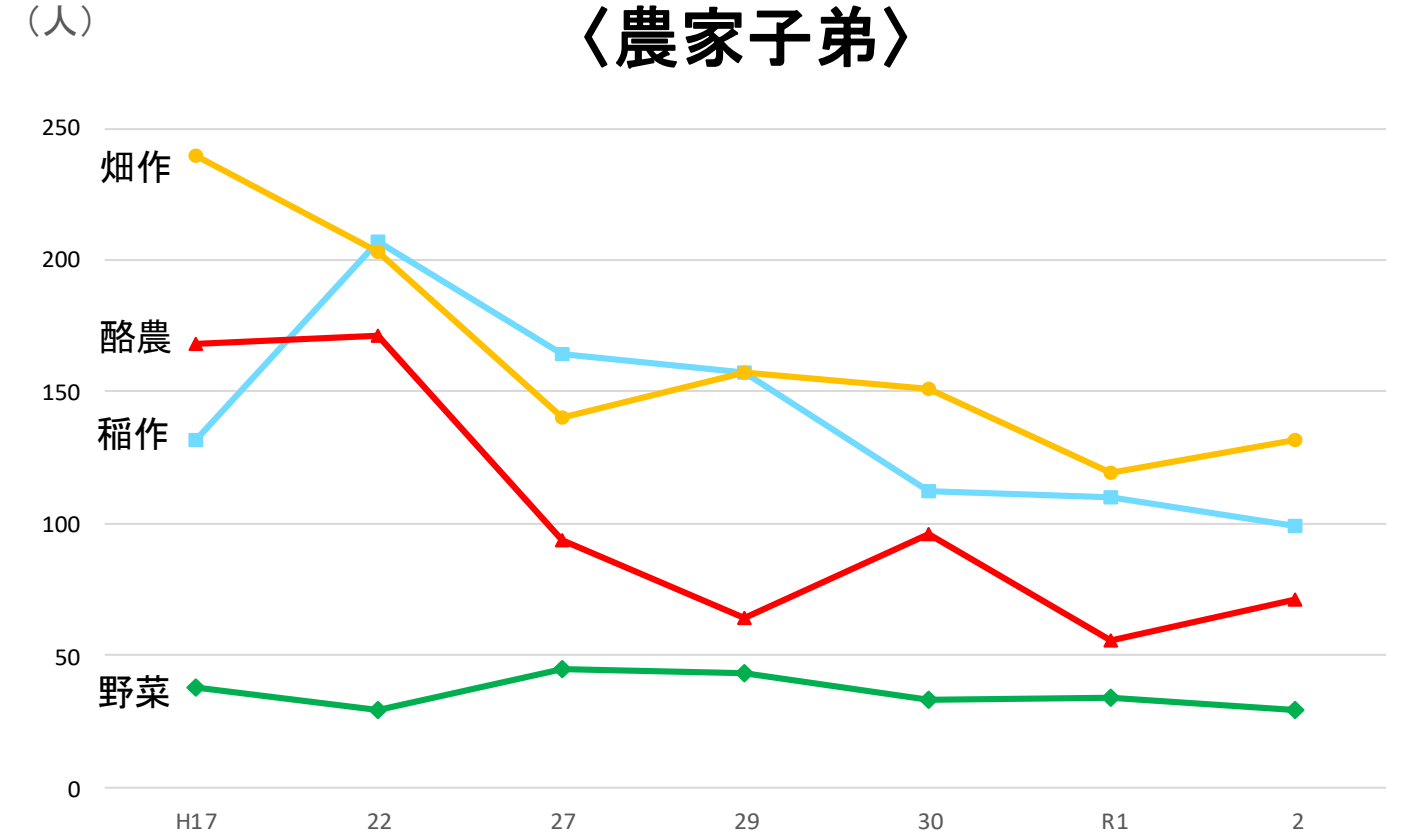
- 全体では畑作・酪農・稲作は減少、野菜は増加傾向。農家子弟においては野菜は横ばい。
- 新規参入においては、野菜が最も多く増加傾向にあるほか、酪農も増加傾向。

ウ 新規就農者数(営農類型別〈全体〉)

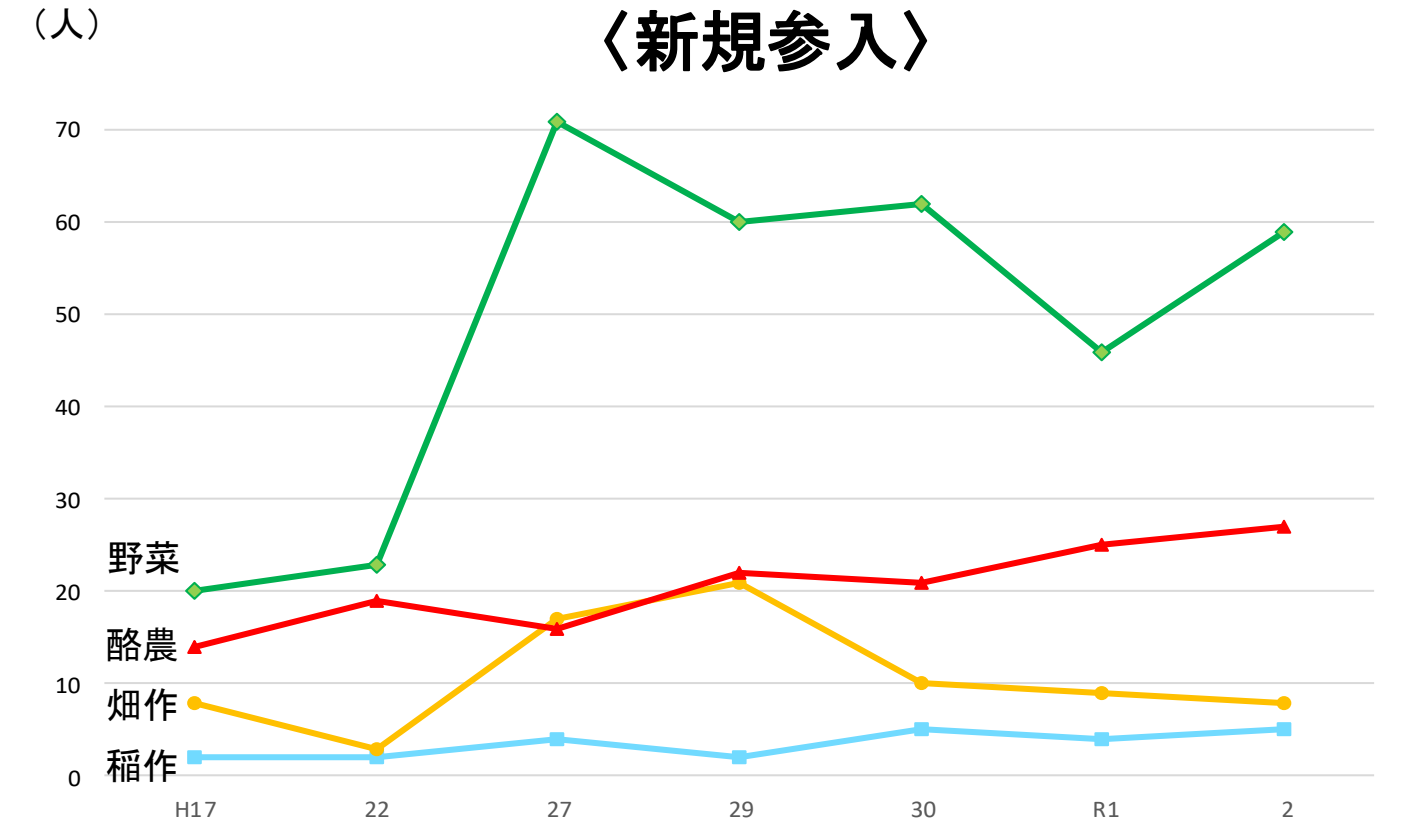


4営農類型
抜粋

〈農家子弟〉



〈新規参入〉

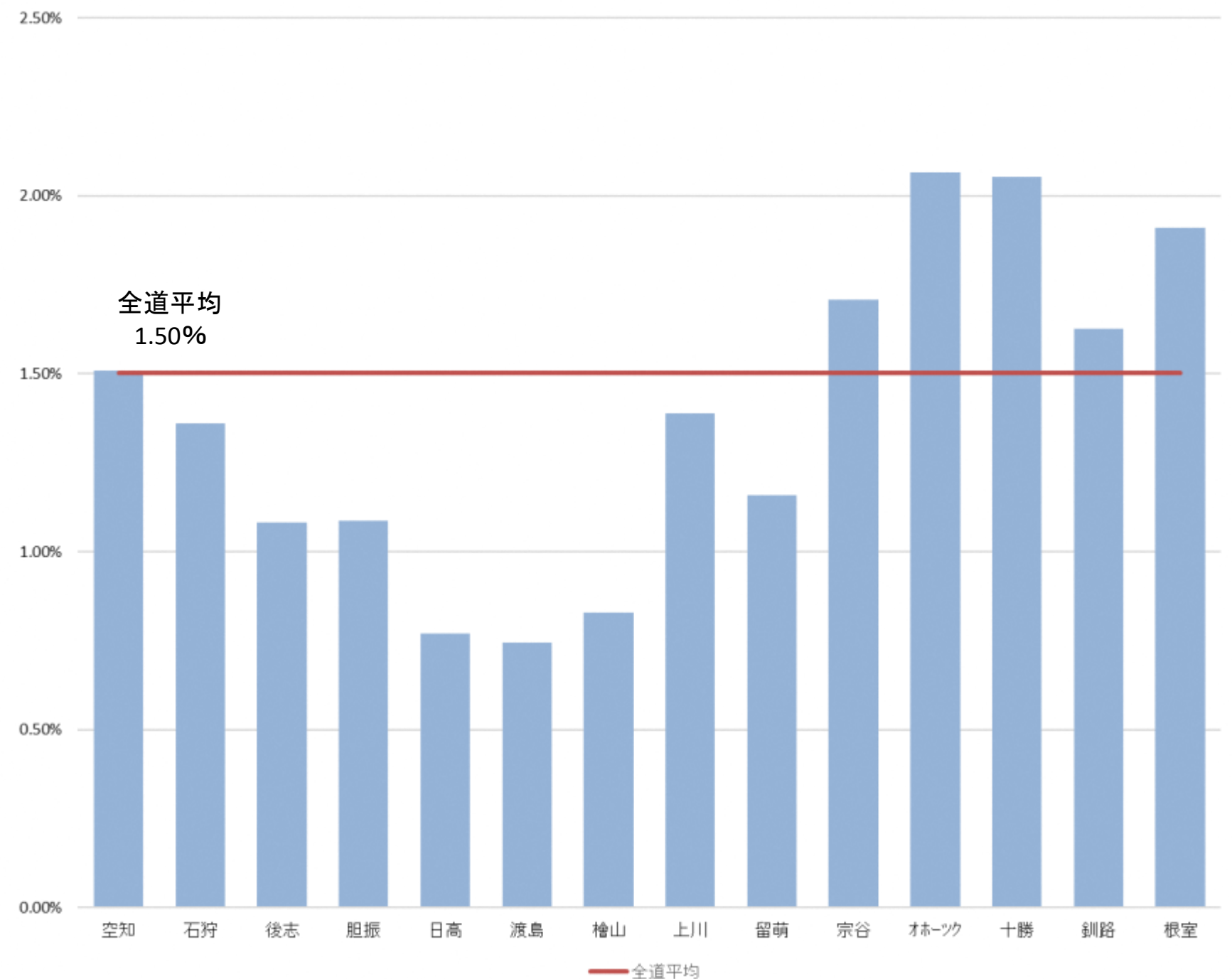
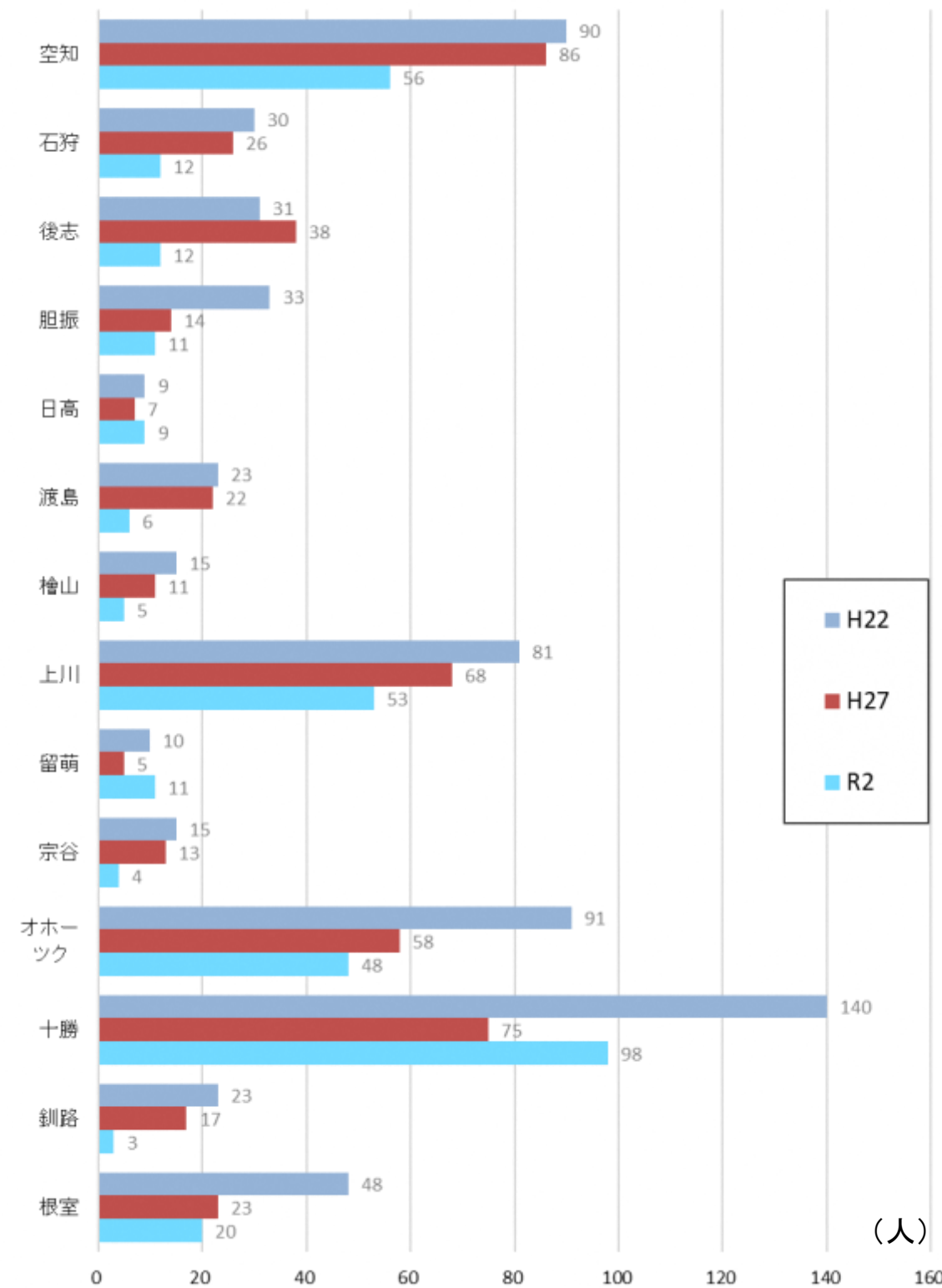


資料:北海道農政部「新規就農者実態調査」

- 新規就農者のうち農家子弟は、空知、石狩、胆振、渡島、檜山、上川、宗谷、オホーツク、釧路、根室で減少傾向。
- 販売農家戸数に対する割合は、オホーツク、十勝、根室、宗谷、釧路、空知の順に高く、全道平均を上回っている。

エ 新規就農者数(農家子弟・振興局別)

オ 販売農家戸数に対する新規就農者(農家子弟(H23~R2の平均))の割合(振興局別)



注: H23~R2の10年間の新規就農者(農家子弟)の平均を個人経営体数(R2)で割ったもの。

◆ 道内の市町村別における新規就農者数のレーティング(過去10年合計:平成23年～令和2年)

順位	市町村名	新規就農者数(過去10年累積)		R元販売農家戸数 (B)	充足率(C) (C)=(A)/10×30/(B)	順位	市町村名	新規就農者数(過去10年累積)		R元販売農家戸数 (B)	充足率(C) (C)=(A)/10×30/(B)
		(A)	うち新規参入者					(A)	うち新規参入者		
1	岩見沢市	164	15	854	57.6%	20	中標津町	70	16	307	68.4%
2	別海町	145	31	687	63.3%	23	余市町	69	60	340	60.9%
3	帯広市	136	6	580	70.3%	24	栗山町	68	19	317	64.4%
4	北見市	132	7	713	55.5%	25	仁木町	67	43	294	68.4%
5	芽室町	123	3	527	70.0%	26	士別市	64	10	467	41.1%
6	美瑛町	109	35	373	87.7%	27	美幌町	63	2	348	54.3%
7	長沼町	107	17	566	56.7%	28	札幌市	62	45	347	53.6%
8	音更町	99	9	613	48.5%	29	新十津川町	61	2	292	62.7%
9	名寄市	98	9	473	62.2%	30	むかわ町	57	11	308	55.5%
10	深川市	79	8	542	43.7%	30	清里町	57	0	200	85.5%
11	旭川市	78	19	843	27.8%	32	小清水町	55	0	287	57.5%
11	富良野市	78	18	546	42.9%	33	東川町	54	9	172	94.2%
13	大空町	76	0	400	57.0%	34	滝川市	52	5	273	57.1%
14	士幌町	75	4	332	67.8%	34	鹿追町	52	0	198	78.8%
15	新篠津村	73	3	221	99.1%	34	清水町	52	8	297	52.5%
15	蘭越町	73	16	237	92.4%	37	由仁町	50	5	302	49.7%
15	網走市	73	5	305	71.8%	37	訓子府町	50	3	287	52.3%
18	美唄市	72	5	486	44.4%	37	池田町	50	6	210	71.4%
18	江別市	72	20	304	71.1%	40	新ひだか町	49	28	380	38.7%
20	幕別町	70	8	469	44.8%						
20	標茶町	70	11	267	78.7%						

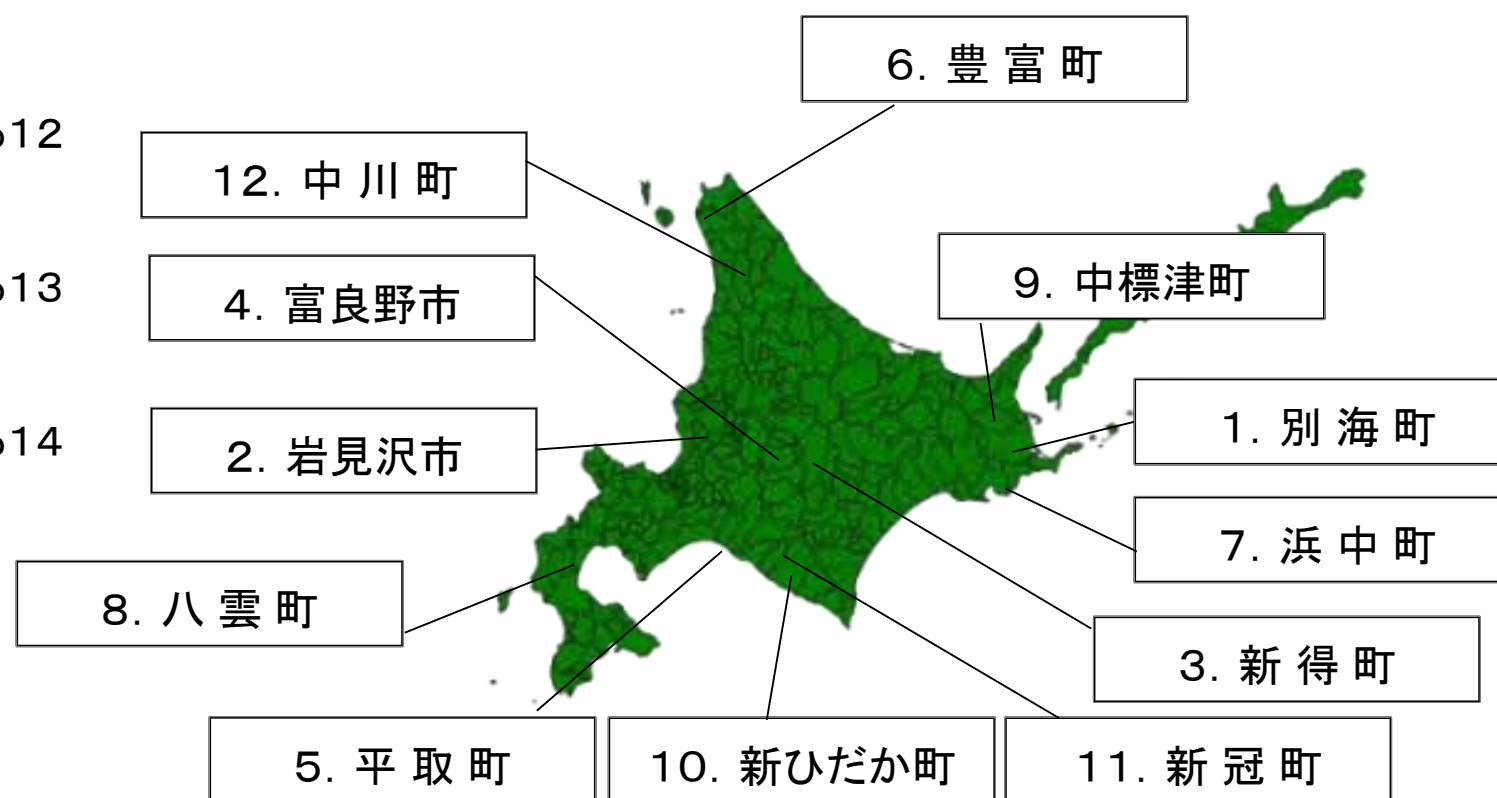
1) 新規就農者数:平成23年～令和2年までの累計数値
 2) 販売農家戸数:2020年農林業センサス
 3) 充足率:世代の入れ代わりを30年として試算
 2)を30年で割り、年平均の新規就農者数をかけた数値

◆ 新規就農者数のレーティング(数値化)上位の市町村における主な担い手対策

順位	市町村名	新規就農等研修施設		市町村独自の対策		主な青年 農業者組織	その他 農業系高校			
		研修施設名(主な施設)	研修施設名(主な施設)	独自事業名	主な支援内容					
1	岩見沢市	○	農業試験ほ 研修用園芸ハウス	○	新規就農サポート事 業	受入農家への助 成	ビニールハウス導入支 援	短期受入研修	岩見沢 4HC	岩見沢農高
2	別海町	○	(有)別海町酪農研修牧場 (株)なかしゅんべつ未来牧場	○	新規就農者対策事業	新規就農者補助 (300万円)	リース料支援 (100万円)		別海4HC	別海高校
3	帯広市	○	帯広市農業技術センター	○	帯広市農林業育成資 金	2,000万円まで 無利子(新規)				帯広農高
4	北見市	○	女性専用研修宿泊施設 ファーマーズハウス「うえる」	○	新規参入就農支援事 業	就農開始助成 (6万円/月)	土地賃貸助成 借料1/2以内		北見市農業 青年クラブ	
5	芽室町	○	芽室町ふるさと交流センター 「やまなみ」	○	芽室町新規就農者支 援	賃借農地補助 1/3以内	農業用機械助成 (50万円/年)			
6	美瑛町	○	農業担い手研修センター	○	担い手総合推進事業	就農時に200万 円を助成	家賃助成 月額3万円			
7	長沼町			○	新規参入農業者誘致 等特別対策事業	居住使用料への 助成	受入指導農家助 成(4万円)		長沼4HC	
8	音更町	○	J A 木野特産物センター	○	農業後継者確保対策 事業	無利子資金の貸 付(50万円)	基礎研修手当 (12万円/月)	家賃補助 (2万円/月)		
9	名寄市			○	新規就農者等支援事 業	研修期間の生活 補助(12万/月)	研修期間中の家 賃補助		名寄4HC	名寄産業高
10	深川市	○	株式会社 深川未来ファーム	○	新規就農者確保対策 事業	研修生への住宅 補助	就農支援資金の 助成(200万円)	受入農家への指 導謝金	ONE MOA	深川東高
11	旭川市	○	農業研修施設整備推進施設	○	新規就農確保・育成 対策事業	研修期間中の家 賃助成	施設投資への助 成(3割補助)	規模拡大への助 成(5割補助)		旭川農高
11	富良野市	○	富良野市農業担い手育成セン ター	○	農業担い手支援貸付 事業	栽培用ハウス資 材等の無償貸付	研修用費用の助 成(100万円)	農業大学校等研 修補助	富良野 グリーンパーク	富良野緑陽 高校
13	大空町	○	新規就農者技術習得管理施設	○	農業体験実習生家賃 助成金	家賃助成 (4万円/月)	移住支援金 (100万円/戸)			東藻琴高校
14	士幌町			○	農業技術習得支援事 業	農大入学者への 補助(50万円)	農地の賃借料助 成(1/2以内)		農業青年 ゼミナル	士幌高校
15	新篠津村			○	新篠津人づくり対策	大型特殊取得経 費の半額助成			新米塾	
15	蘭越町	○	蘭越町研修農場	○	新規就農支援事業	機械導入助成 (300万円)	新規就農者へ 24万円の商品券	家賃助成 (1.5万円/	蘭越4HC	
15	網走市			○	新規農業参入者支援 事業	農地等に係る固 定資産助成			とうふつ 青年会	
18	美唄市			○	新規参入者等支援事 業	研修生への補助 (5万/月・2年間)	受入農家への補 助(5万/月)			美唄尚栄高
18	江別市	○	花き・野菜栽培技術指導セン ター	○	江別市農畜産物加工 新商品開発等支援事	新商品開発費 (上限40万)			I'm fine	とわの森 三愛高校
20	幕別町	○	幕別町農業担い手支援センター (株)北海道ホープランド	○	新規就農者支援事業	農地賃借料の半 額助成				
20	標茶町	○	しべちゃ農楽校 (株)TACS標茶	○	新規就農者誘致特別 措置条例	賃貸住宅家賃助 成(家賃1/2)	研修先までの交 通費助成	研修経費助成 (2/3以内)		標茶高校
20	中標津町	○	(株)rarafarm中標津		新規就農者支援事業	営農経費助成 (400万円)	経営安定資金 (1,000万円)		中標津4HC	中標津農高

■ 各市町村の担い手育成・確保対策の事例紹介

- | | |
|--|--|
| <p>1. <u>別海町の取組概要</u> (酪農経営／根室管内)
 ～ 酪農家を目指す研修生を全力で応援！ ～ …… p7</p> <p>2. <u>岩見沢市の取組概要</u> (稲作・野菜／空知管内)
 ～ 農作業全般を体験、次へのstepへの意志固め!! ～ …… p8</p> <p>3. <u>新得町の取組概要</u> (畑作・酪農／十勝管内)
 ～ 2つの研修施設を核に新規就農希望者を支援！ ～ …… p9</p> <p>4. <u>富良野市の取組概要</u> (園芸・畑作／上川管内)
 ～ 大自然の中での理想の生活！農業の夢を現実に！ ～ …… p10</p> <p>5. <u>平取町の取組概要</u> (施設園芸／日高管内)
 ～ 小規模で大型機械を必要としないトマト栽培農家の育成 ～ …… p11</p> <p>6. <u>豊富町の取組概要</u> (酪農経営／宗谷管内)
 ～ 利尻富士を眺めながら広大な北海道を満喫 ～ …… p12</p> <p>7. <u>浜中町の取組概要</u> (酪農経営／釧路管内)
 ～ 大自然の中で牛飼いになれる町 ～ …… p13</p> <p>8. <u>八雲町の取組概要</u> (園芸・酪農／渡島管内)
 ～ 施設園芸から酪農まで、関係者が一体となった研修生の受入…～ p14</p> | <p>9. <u>中標津町の取組概要</u> (酪農経営／根室管内)
 ～ 託児所・児童館の一元化施設を開設し、子育て支援 ～ …… p15</p> <p>10. <u>新ひだか町の取組概要</u> (施設園芸／日高管内)
 ～ 農業体験から就農後まで、関係機関が一体的に支援 ～ …… p16</p> <p>11. <u>新冠町の取組概要</u> (施設園芸／日高管内)
 ～ 農業支援員制度により、新規就農希望者をサポート ～ …… p17</p> <p>12. <u>中川町の取組概要</u> (畑作・酪農／上川管内)
 ～ 新規就農誘致条例に基づき、新規就農希望者を支援 ～ …… p18</p> |
|--|--|



1. 別海町における担い手確保対策の概要（根室管内）

べつかいちょう

【酪農経営／別海町】

～ 酪農家を目指す研修生を全力応援！ ～

【別海町の取組概要】

- ◆ 研修施設を核として、就農前から新規就農後までをサポート
- ◆ ハード対策と同時に、町独自の支援対策を並行して実施して、コンスタントに担い手を確保

※ 新規就農者数：年平均16人

【地域の概略】

○位置

北海道 別海町（山村振興法地域）



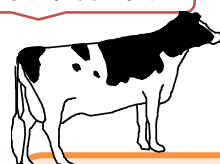
○主要形態（別海町全体）

・乳用牛（生乳）ほか

○主なデータ（2015センサス）

・総人口 15,273人
 ・農業就業人口 2,133人
 ・販売農家戸数 755戸

酪農経営



研修から新規就農までトータルサポート （新規就農等研修施設の有効活用）



- 研修牧場に入所した研修生の79組が新規就農を実現
- 全国各地より、酪農家を目指す先輩達が研修

協力：北海道農業担い手育成センター

◆ 新規就農等研修施設 （ハード事業）

1. (有)別海町酪農研修牧場
 - ・原則3年間、おおむね40歳未満までの夫婦またはパートナーのいる方
2. (株)なかしゅんべつ未来牧場/JA
 - ・人材育成、研修機能を持つ生産施設

※ 別海町のお、各JAによる独自支援対策も充実

◆ 新規就農者対策事業 （ソフト事業）

1. 別海町新規就農者等支援事業

- ・町内に新規で農業を開始する者に300万円を補助
- ・リース料の1/3を年間100万円上限に最大3年間助成
- ・固定資産税相当額を年間25万円上限に最大3年間助成
- ・牛導入費用に対する助成（上限150万円）
- ・住宅、施設の改修費用に対する助成 ほか

取組の工夫点

- 研修生は、(有)別海酪農研修牧場の職員
- 研修手当
月額188,900円
- 夫婦用住宅、独身アパートを
月額3万円で貸与

Check!

就農後の主なアフター支援 （地域の支援体制）

- ◆ 関係機関が協力した支援システム
 - ・協議会構成機関からの適切なアドバイス
 - ・交流会を開催し、総合的にサポート
- ◆ 子育て支援
 - ・町内の地域ごとに保育園又は幼稚園を開設（必要に応じ時間延長の支援）
- ◆ 通学支援
 - ・小～中学生／町スクールバスによる送迎
 - ・高校生／定期バスを運行 ほか



2. 岩見沢市における担い手確保対策の概要（空知管内）

いわみざわし

【稲作・野菜／岩見沢市】

～ 農作業全般を体験、次のstepへの意志固め!! ～

【岩見沢市の取組概要】

- ◆新規学卒者とともに、新規参入者への支援も充実
 - ◆受入農家支援や研修ハウスの導入により、実践的な研修を実施
- ※ 新規就農者数：年平均15人

【地域の概略】

○位置
北海道 岩見沢市（一部過疎地域）



○主要形態（岩見沢市全体）
・水稲、小麦、野菜（玉ねぎ・トマト） ほか

○主なデータ（2015センサス）
・総人口 84,449人
・農業就業人口 2,686人
・販売農家戸数 1,265戸

稲作・野菜



まずは、見極め体験研修からスタート
（腰を据えた就農体験研修の実施）

- 見極め研修から実践的研修・就農準備を開始（2年半）
- 充実した市独自の支援制度

Point



協力：北海道農業担い手育成センター

◆ 新規就農等研修施設（ハード事業）

1. 研修用園芸ハウス（研修施設）
・トマト、きゅうりなどの園芸作物の研修
・地中熱とヒートポンプによるハウス

◆ 新規就農者対策事業（ソフト事業）

1. 新規就農サポート事業など
・体験研修を受け入れた農業者へ月額8万円
・就農技術習得に係る支援、月額10万円
・新規参入の経営安定支援、月額10万円
・家賃助成（2/3以内）、ハウス助成（1/2以内） ほか

※岩見沢市北村豊里 北村農業試験ほ内

※ 岩見沢市とJAが一体的に就農をサポート

取組の工夫点

- 見極め研修は、6ヶ月以内農作業全般を体験
- 実践的研修・就農準備は原則2年間
- 最初の1年は受入農家、2年目は研修用園芸ハウスで自主研修



就農後の主なアフター支援（地域の支援体制）

- ◆農業後継者対策協議会による支援
・就農後も先輩農家や営農指導員によるアフター技術支援や経営相談などを親身に実施
- ◆福祉・教育支援
・都市近郊でもあり、健康福祉、教育機関が充実
- ◆自然環境
・豊かな自然環境と優れた都市機能が共存する暮らしやすい街。交通・流通の面で有利 ほか



3. 新得町における担い手確保対策の概要（十勝管内）

～ 2つの研修施設を核に新規就農希望者を支援！ ～

【新得町の取組概要】

- ◆JAでは、担い手育成を目的とした研修牧場「シントクアユミルク」を設立し、新規就農希望者等を受入・育成
 - ◆女性だけの農業体験実習施設「新得町立レディースファームスクール」
- ※ 新規就農者数：年平均2人

【地域の概略】

○位置
北海道 新得町 （過疎、山村振興法地域）

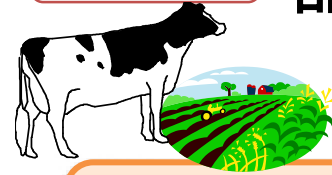


○主要形態（新得町全体）
・畑作、野菜、乳用牛、肉用牛ほか

○主なデータ（2015センサス）

・総人口	6,288人
・農業就業人口	210人
・販売農家戸数	90戸

畑作・酪農



酪農研修、農業体験実習に対する支援も充実 （JA・町が連携した2つの施設）

- 最先端の設備を整えた研修牧場「シントクアユミルク」
- 女性専用の農業体験実習施設「レディースファームスクール」



協力：北海道農業担い手育成センター

◆ 新規就農等研修施設 （ハード事業）

1. 農業生産法人（株）シントクアユミルク
・JAの子会社で、酪農の基本から最先端技術まで身に付けることができる研修牧場
2. 新得町立レディースファームスクール
・町が設置した女性専用のスクールで、農業体験実習ができる施設

◆ 新規就農者対策事業 （ソフト事業）

1. 新規就農者への支援
・機械・施設等整備費用補助（経費の1/2）
・搾乳牛の無償譲渡（初任牛10頭）
・農場リース事業貸付料補助（借料の1/2）
・就農資金の貸付 ほか

※ 新得町その他、JA等による独自支援対策も充実

就農後の主なアフター支援 （地域の支援体制）

- ◆関係機関が協力した支援システム
・JAや町、普及センターなど地域の関係機関・団体がバックアップ
- ◆研修生同士の仲間づくり
・一緒に研修する仲間は、就農後の人脈づくり
- ◆地域内でのつながりを重視
・農家で研修を行うため、町内農家と顔見知りになることができ、就農後もアドバイスや協力が得られる



取組の工夫点

- 女性を限定とした農業体験実習への支援
- 最先端の設備を備えた研修牧場で次世代型の酪農研修
- 資金貸付や投資負担軽減など新規就農者への支援のほか、農業実習生への支援も充実

